
黒い矢印と白い矢印

絹谷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒い矢印と白い矢印

【Nコード】

N3774BA

【作者名】

絹谷

【あらすじ】

黒い矢印と白い矢印による、ことばあそび

友達のいない黒い矢印が地球のてっぺんに立っていました。
とぼとぼ15歩歩くと黒い矢印の前に白い魔女が現れました。
可哀相な黒い矢印に白い魔女はこういいました。

「お前に弟を作ってやろう」

白い魔女はふいつとステッキを振ると真上に白い矢印が現れました。
2つの矢印はすぐに仲良くなり、兄弟になりました。

一緒にるんるん15歩散歩をすると、黒い矢印が現れました。
可愛そうな黒い矢印に黒い魔女はこういいました。

「お前に方向を付けてやろう」

黒い魔女は方向を黒い矢印にプレゼントしました。
すると、黒い矢印は上へ上へ上ってしまいました。

ひとりぼっちになった白い矢印はとても悲しみました。

わんわん泣きながら白い矢印は15歩先にある白い魔女の家に向か
いました。

そして、白い魔女に向かってこう願いました。

「どうぞ方向を付けてください」

白い魔女は白い矢印に同情しました。

そして、ふいつとステッキを振ると白い矢印に方向が付きました。

しかし、プレゼントされたのは黒い矢印とは違う「下」でした。
白い矢印は下へ下へ下ってしまいました。

向かった先には、方向性を見失った黒い矢印と白い魔女が
白い矢印を見上げていました。

《解説》円を描いて頂点に「」を書き、15歩ずつ「」
を見ていけば、なんとなく意味がつかめます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3774ba/>

黒い矢印と白い矢印

2012年1月9日21時58分発行